

オホーツク海・日本海 4 月 魚探情報

—試験調査船「北洋丸」による海洋観測および魚群分布調査の結果—



2021 年 5 月 10 日

北海道立総合研究機構 稚内水産試験場

(担当：調査研究部 堀本 0162-32-7166)

- ◎オホーツク海沿岸域の底層水温は前年より低めで 4℃台の水温帯が優占
- ◎スケトウダラとみられる魚群反応量は前年より少なく、宗谷岬東方沖と枝幸沖を中心に分布
- ◎日本海の底層水温は前年よりやや高く、沿岸域では 5℃以上の水温帯が優占
- ◎留萌～余市沖にスケトウダラとみられる魚群反応が分布

1 調査概要

2021 年 4 月 15～26 日に稚内～積丹沖の日本海，稚内～網走沖のオホーツク海において，試験調査船北洋丸により，海洋観測および計量魚探を用いた魚群分布調査を実施しました。

2 水温観測の結果（オホーツク海）

調査海域における底層水温（海底上 5～10m，水深 500m 以深の海域は深度 500m の水温）の分布を図 1 に示します。今年 4 月の底層水温は，2020 年より低く，宗谷管内の沿岸域では宗谷暖流の流入により 4℃台，沖合域では 3℃台の海域が広がっていました。

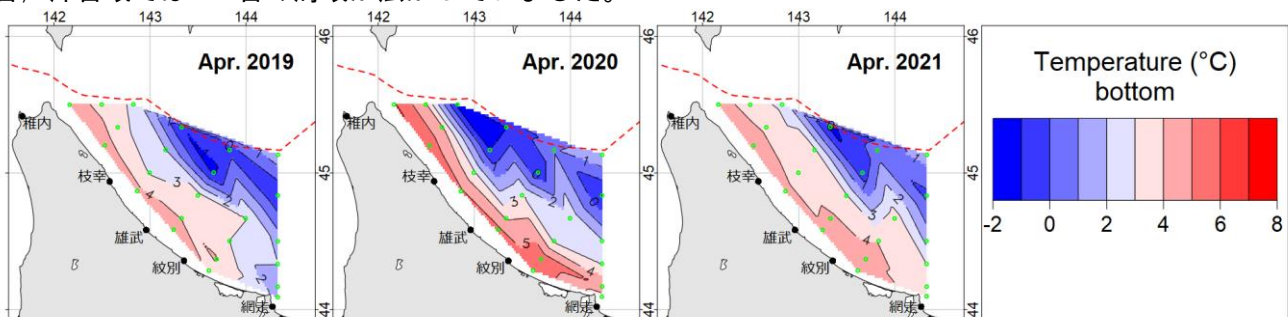


図 1. 北海道沿岸オホーツク海における底層水温（℃）の分布. 2019～2021 年 4 月.

3 魚群分布調査の結果（オホーツク海）

計量魚探で得られた 1 海里あたり魚群反応量の分布を図 2 に示します。今年の調査では，魚群反応量は前年より少ないものの，枝幸沖および宗谷岬東方沖の水深 70～100m において，スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました（図 3）。

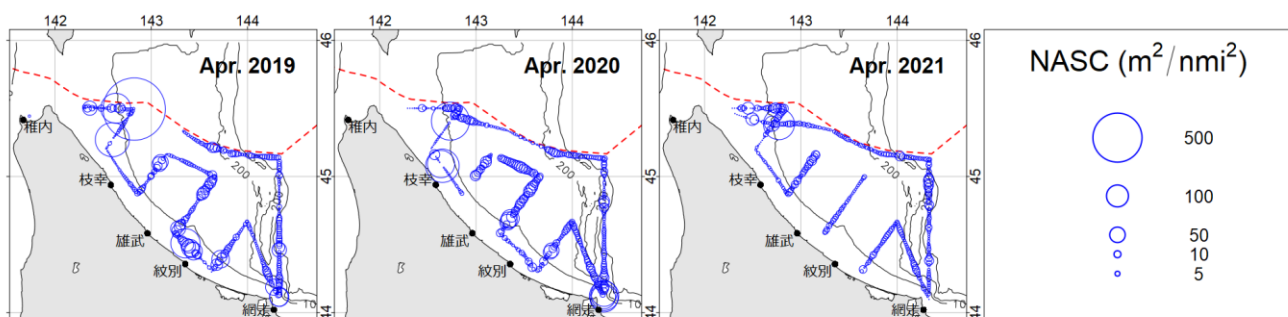


図 2. 北海道沿岸オホーツク海における魚群反応量 NASC (m^2/nmi^2) の分布. 2019～2021 年 4 月.

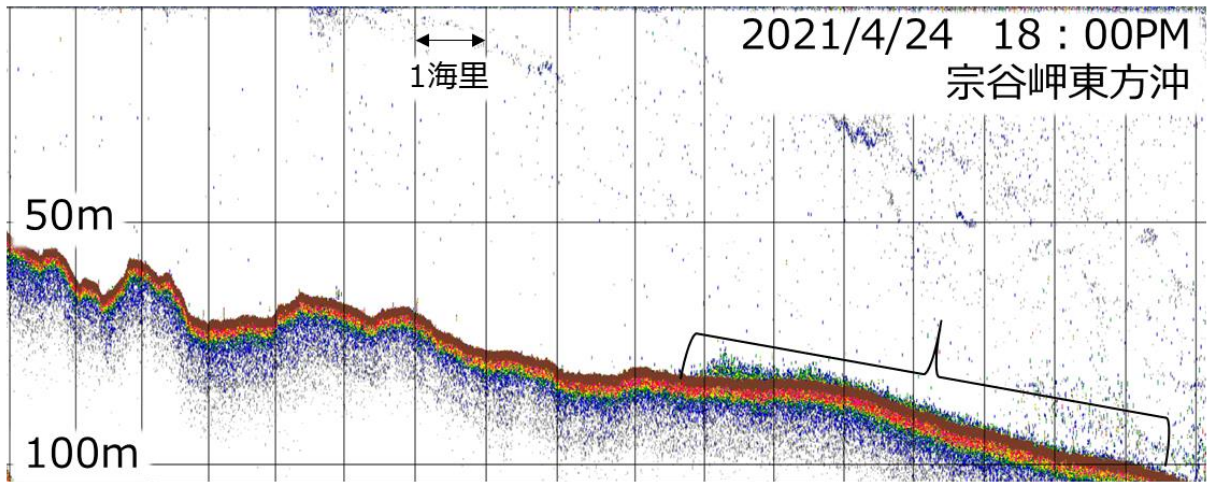


図3. 2021年4月24日の魚探画像（黒括弧下：スケトウダラ）。宗谷岬東方沖。

4 水温観測の結果（日本海）

調査海域における底層水温（海底上5~10m, 200m以深の海域は深度200mの水温）の分布を図4に示します。今年4月の底層水温は、2020年よりもやや高く、沿岸域では5℃以上、沖合域にかけても3~4℃台の海域が広がっていました。

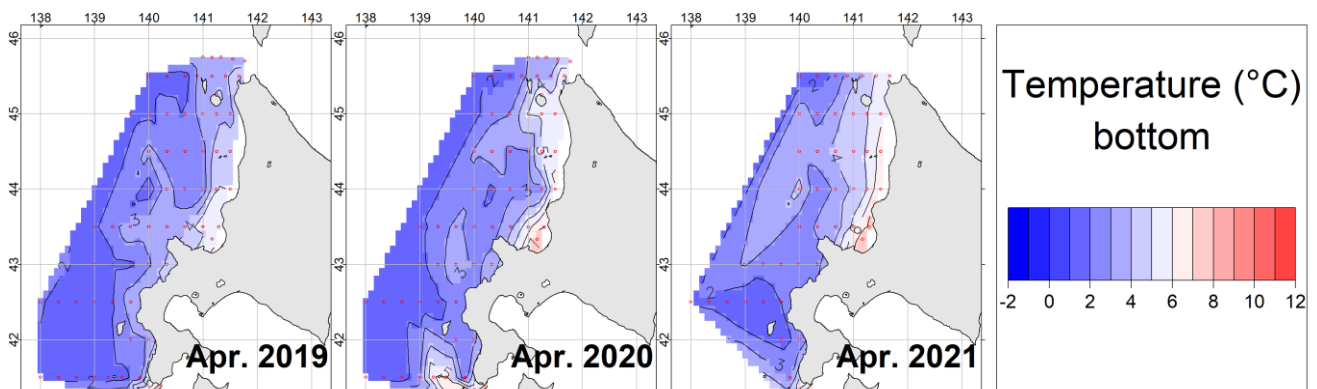


図4. 北海道西部日本海における底層水温（℃）の分布. 2019~2021年4月。

5 魚群分布調査の結果（日本海）

計量魚探で得られた1海里あたり魚群反応量の分布を図5に示します。留萌~小樽沖の水深150~500mにおいて、スケトウダラとみられる魚群反応が観察されました。

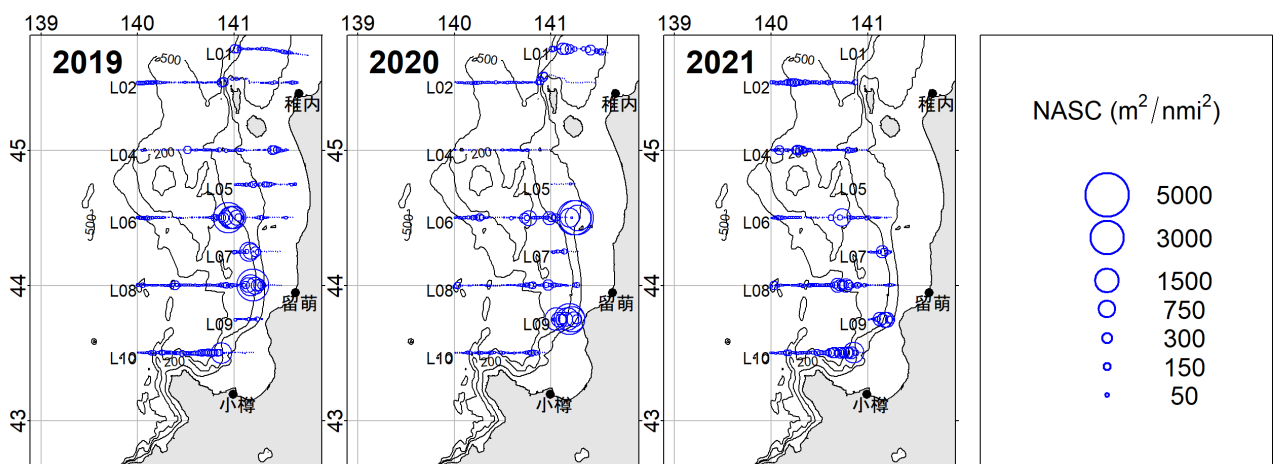


図5. 北海道西部日本海における魚群反応量 $\text{NASC} (\text{m}^2/\text{nmi}^2)$ の分布. 2019~2021年4月。